

おお大勝利

平成 26 年度山東サッカー一部報第 24 号 (1 月 8 日)

サッカー一部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー一部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

明けましておめでとうございます

平成 27 年、2015 年、明けましておめでとうございます。今年も山形東高校サッカー一部へのご支援宜しくお願い致します。

昨年は山東創立 130 周年の記念の年でしたので、以前 100 周年のときにインターハイ、選手権の二冠を達成しているジnkスから、「2014 年はやってくれるのではないかと鈴木元顧問や OB 会の皆様から期待を集めました、県総体、選手権とも、惨敗¹。全国大会出場の宿願は叶いませんでした²。また、トーナメントで言うと、県新人も期待外れに終わりました³。唯一、県リーグにて、2 部リーグ B⁴にて優勝し、来年 3 期ぶりの Y1 復帰を決めたことが好材料。後期からは新人チームだっただけに、余計に価値がある昇格となりました⁵。今年は、Y1 にて、昨年以上に気の抜けないリーグ戦を戦うことになるでしょう。しかし、そこで揉まれることで、トーナメントでの戦いに良い影響があると思いたい。**まずは県総体優勝を目指し、頑張ります！** またリーグ戦 (Y1) にても、目標は優勝！！と景気良く言いたいところですが、非現実的な放言は目標の信頼性を貶めますので、堅く**目標は残留**とっておきます。

と、このように書いている私自身の山東での寿命が約束されている訳ではない。今年で山東 9 年目。いつ異動になってもおかしくない。なるべく異動にならないように、1 学年担任を希望し、現在その任を務めておりますが、担任であろうと異動するときはする(しかも、一切の打診なく)。去年の新年号で以下のように書きました。

前任校は進学校とは対極にあるような学校であり、サッカー一部も半分が初心者でしたが、それぞれにやり甲斐があり、異動は絶対にしたくない中、異動が命じられ、渋々山東へ赴任した、という思い出があります。そんな重い気持ちで赴任した山東も、「住めば都」。まだまだ居座る野心はあるのですが・・・9 年目に突入できますでしょうか？ **できなかつたら、この部報は 3 月で終了**ということになりますよ～。まあ、**勝手な予測で言いますと「75%残留」**でございます。

昨年の残留確率 75%というのも全くあてずっぽうですが、その数字を前提に、あと 10 年残

¹ 県総体は鶴南相手に一回戦敗退、選手権は新東相手に三回戦敗退。

² 元顧問の佐竹校長から頂いた 2014 年の年賀状に、「今年は胴上げされたい」とあったのですが、教子今野の力量不足により、実現できず、無念でありました。

³ 米沢中央相手に一回戦敗退 (PK 合戦での敗北)。

⁴ 2 部リーグ A (Y2A) と B (Y2B) では、カテゴリーの上下はありません (抽選でどちらかに決まる)。

⁵ 前期をフルに務めてくれた 3 年生の功績ももちろん大きい。

留する可能性はない（残留確率が 0%になる）と考えてみたときに、今後 1 年で 7%ずつ残留確率が減っていく、とまあ大雑把に言えるのではないのでしょうか⁶。ということは、**来年度の残留確率は 68%**となります。確率的には 50%を超えているので残留する可能性の方が高いと言えますが、パチンコ等の愛好者の方ならその数字がいかにかに信頼おけないものか、よくおわかりかと思えます・・・。

とまあ、こんな妄想はさておいて、**山東サッカー部、今年もよろしくお願い致します。**現在、チームは少ない人数の中、楽しく厳しく練習に励んでおります。**人数が少ない中、自分たち自身で高めあえる雰囲気・文化をどれだけ形成できるか。**応援よろしくお願ひします!!!

1年生大会 初戦敗退

昨年 12 月に行われた大会ですが、12 月顧問今野の怠慢により報告遅れてしまいましたので、今号でご報告いたします（次の納会の報告もそう）。

12 月 6 日（土）7 日（日）村山地区の 1 年生大会が開催されました。例年ですと 11 月後半に開催される地区 1 年生大会ですが、今年度は様々な事情により、初の？12 月開催。はじめこの日程を聞いた時「本当に大会できるのだろうか」と疑問に思いました。だって山形の 12 月って、全く当てにならない。特に近年は山形市でも積雪量が多いため、もし雪を踏み固めての試合なんてなったら、試合というより単なる体力トレーニング。「え〜」というネガティブな心の声がしました。そして山東の日程は、12 月 5 日、8 日、9 日に後期中間考査が開催される。ということは、まさにテストの合間に大会をするということじゃないですか！ 一年生の選手諸君にまずは聞いてみようと思い、目をつぶらせて、「テストを優先したいので今年是一年生大会不参加が良いと思う人、挙手」と言うと、挙手者ゼロ。「参加したい人」と聞くと全員の手が挙がる。**そりゃそうです。毎年 1 年生はこの大会を楽しみにしているのです。**ちょっとネガティブになった自分を反省しました。

先立つ 11 月 29 日（土）には、1 年生保護者の皆様が激励会を開いて下さいました。例年は打ち上げというか一年生部員の慰労会を一年生大会の試合当日に開いて下さるのですが、今年はテストもあるので大会の前にしてしまおうか、と保護者の皆様が考えて下さった。ということで顧問 2 名も参加し、ホテルキャッスルの地下の座敷のお店を借りて、激励会を開催して下さいました。今年的一年生保護者は例年にも増してサッカー好きの多いのにビックリ。**サッカー事情に詳しいし、まだ「現役選手」というお父さんが複数いる！ そしてお母さん方はパワフル。これは例年通り！！**

とまあ、こんな恵まれた環境にある部員。熱い試合で保護者の方のご支援に応えたいところ。**GK クロサカ、右 SB ユウキ、CB ワタコー、シュン、左 SB フミキ、右 SH タクオ、CH サンペー、ハヤト、左 SH ユータロー、FW ユウトことススキ、カズマ**の先発でスタート。相手は山形学院、会場は山形明正、人工芝！！ 試合が始めると、予想通り苦しい戦い。止める・蹴る・運ぶという基本スキルが怪しいので、頑張ってはいるが空回り。そしてリズムの作れない最中、低い位置での凡ミスにより失点。少なくとも 3 連続であり得ないミスが

⁶ 現在山東の在籍最長の方は 19 年目、二番目の方が 17 年目です。どちらも社会科の方というのが心強い！

続いた末の失点でした。細かくは書きませんが、予想していた通り、一年生拙い。その後、リズムを取り戻し、山東優勢の中、タクオが同点ゴール。フミキが「本当の応援団」の団長候補に躍り出たため、団長とのあだ名を返上することとなったタクオですが、正月遠征も含め振り返ると、なんだかんだでゴールを決めている。思い返せば、新チームに切り替わった直後の Y2B 山商戦でもスライディングで先制点を決めたのがタクオ。多くは、いわゆる「ごつつあんゴール」。以前部報で、チャッカリカズマの記載が登場しましたが、山東にはチャッカリタクオもいた！ まあ、ごつつあんも、良い所にいたからそうなった訳で、それが繰り返されると、ゴールの嗅覚がある、などと呼ばれる。そして、その後、ユータローが倒され PK ゲット、それをユータローが決めて、山東前半のうちに逆転に成功。

後半、故障がちなユウキとスズキに代えて、タスクとマツキ投入。 韻を踏んでるかのような交代でしたが、これで 1 年生の選手が全員プレーすることとなる。後半は、山東押し気味ではあるが、まったくもって決め手に欠け、一進一退。そんな中、山形学院で繰り返し足を攣る選手がいる。「ああいう選手は、ああやって動かさず体力を温存させといて、最後に美味しいところを持って行くんだよ」などとベンチでマネージャーに話をしていると、本当にその選手が、繰り返しの痙攣は何だったんだと思わせる華麗なドリブルを見せ、情けないことに山東ディフェンスが何人も交わされ、同点ゴールを決められてしまう。その時間、後半 29 分⁷。その後、タスクが最後にはなった渾身のシュートはあっけなく大きくゴールマウスを外れ、程なくしてタイムアップ。2 対 2 の同点により PK 合戦へ突入。その PK 合戦、誰が決めて誰が外したのか、もう忘れてしまいましたが、6 対 7 で敗戦。ん～、盛大な壮行式を開いて下さった保護者の方に申し訳ない試合内容、結果ですね。いかに 2 年生の力に依るところが大きい山東新チームだったか、自分たちだけではこんな程度しかなしえないということを、誰よりも 1 年生が痛感した試合だったのではないのでしょうか。

その日午後から雪が降り始め、日曜日までの降雪量は半端なく、2 日目は中止。やはり 12 月の大会は厳しかったですね。

応援ありがとうございました。把握しきれませんでした、2 年生保護者もおられたかと思います（もしかして 3 年生保護者も？）。声援に応えられませんでした、1 年生は来春までに強くなって帰って来てくれることでしょう。重ね重ね、寒い中の応援ありがとうございました。

納会終了 三年生受験頑張れ！

12 月 12 日（金）**第 33 回**山東サッカー部納会が恒例の中島商店にて行われました。この企画、**マネージャーが作成した一年間の公式記録集**を片手に、OB 会がふるまってくださるすき焼き鍋を囲みながら、一年のまとめをするもので、今年で 33 回を迎えました。**初回は、前 PTA 会長にして OB ヨシタカのお父様の丹野さんが 3 年生の時だったようで、昨年 4 月亡くなられた武田栄四郎前 OB 会長の肝いりで始められました。**OB 会からは会長はじめ 6 名も集まって下さり、選手数が少ない分、会を盛り上げて下さいました。

まず会長から今年一年の悔しさ嬉しさを総括するお話と、3 年生に向けた顧問の話のあ

⁷ 一年生大会は 30 分ハーフ。

と、5名の優秀選手賞を発表し表彰した後、乾杯（その5名と授賞理由は下の通り）。さまざまな作り方がすき焼きにはあろうかと思いますが、現役生は思い思いの「鍋」を作っていました。途中、OBの方々から激励の一言を頂戴し、2年生キャプテンの感謝の言葉があった後は、3年生の決意の言葉。力強い宣言と心配になる宣言と両方ありましたが、**納会で蓄えたすき焼きパワーをぜひ勉強で発揮し、志望の実現に向けて頑張りたい**と思いました。

二次会は、これまた恒例の寿屋にて。おそば屋さんで飲むそば焼酎（焼酎のそば湯割り）は格別で、毎年楽しみにしているのですが、今年も堪能させていただきました。私も、センター指導に向けた英気を頂きました。ありがとうございました。

村岡真論

今年のチームの攻守の中心といえばこの選手。正確なトラップと長短のパスで中盤に君臨。ヘディングも含めた競り合いも、入部時とは比べ物にならないほど強くなった。本来彼はドリブルを好むアタッカータイプだが、彼を上回る戦術眼の持ち主がいなかったために、堅実なプレーの求められるボランチでのプレーを強いられた。しかし、攻守にわたり体を張ったプレーがしっかり身につく、プレー成功率は高かった。惜しむらくは、繊細な性格の故か好不調の波が大きく、持っている技術を発揮しきれない試合が散見されたこと。ともかく、入学前からAチームでプレーし、入学以来すべての大会に出場し続けた彼の貢献は大きい。ぜひ大学でもサッカーを続けてほしい。プレーを楽しむ心の余裕ができれば、もっと伸びる。

大野桂

シュートストップ、ブレイクアウェー、コーチングと、GKとして求められる能力を山東で完全開花させた選手。1年の途中までは、無謀な飛び出し、重い肉体、飛ばないキックにより、サブGKとしての地位すら与えられなかったが、1年秋冬にグッと伸び、2年になる頃にはスタートGKの地位を確保した。自分への甘さを反省し、GKコーチの指導に謙虚に耳を傾け、真摯に努力した結果であろう。2年時には、通常のプレーが安定したばかりか、選手権や新人戦にて驚異的なPKストップ率を誇ったことも思い出深い。チームメートに対して喜怒哀楽のあるコーチングのできた点でも、彼のGKとしての素質を思わせる。入部当初、連続して怪我に見舞われ、「お祓いを受けたらどうだ」などと会話し、お尻（ケツ）の怪我ゆえにケツツンとあだ名が付けられたのも、今思えばいい思い出。

土井優太郎

この学年で入学以来もっとも伸びた選手と評価できる。GK大野の1年から2年にかけての伸びも称賛されるべきだが、彼は1年から2年、2年から3年と連続して伸びた。入部当初は右SBとして視野も限られ、キック技術もお粗末なため、パスミスの連続であったが、少しずつ低く強く蹴る技術と浮き球で蹴る技術が身につく、縦または横と広角にパスを出せるようになったためプレーの安定感が増した。右サイドの駆け上がりは積極的で、最終的には当たりも強くなった。なかなか公式戦には出場できなかったが、ストイックにトレーニングに励み続けた姿は部員の鏡。彼のひたむきな山東サッカー部生活に最大級の賛辞を贈りたい。今後は学習面でこの学年をけん引してほしい。

伊藤凜太郎

まず性格がいい。どんな仕事にも明るく前向きに取り組む。この人間と一緒に戦いたいと思わせる選手。サッカー選手としても、「リンちゃんが入ると、（ボール回しの中心という

訳でもないのに) ボールが回り、サッカーしやすい」と周囲から評価されるクレバーな選手であった。要するに、相手の状況を観て、どのようにボールを受ければパサーは助かるか、そしてどこにボールを運べばいいのか、判断できる選手であったということ。読みが良いので、フィジカルはないのに CB などさせるとインターセプトの連続。ヘディングも、落下地点が読めるというか、どのように落下地点に入ればよいかわかっているの、上背はないのに強かった。主にトップ下でプレーしたが、5月以降故障により満足にプレーできなかったのが悔やまれる。応援に回った時の美声への評価も高かったこと、チームのムードメーカーとしても貢献したことも付言しておく。

森谷晃太

1年時から、ハートの強さ、運動能力の高さ、ドリブルの積極性により、主にアウトサイドのポジションで新人チームの試合に出場し続けた。一つ上の先輩が引退するまではがむしゃらさだけで駆け抜けた印象があり、2013U18Y2A 前期最終戦の鶴東戦では、ドリブルにて加速しすぎてボールロストを繰り返した県総体を踏まえ、上の善貴主将から再三「突っ込み過ぎるな」「急ぎ過ぎるな」と注意を受けていた。しかし、上級学年になり主に CF で出場することが多くなると、トレーニングで培ったスクリーン技術により、速いドリブル突破だけでなく高い位置で落ち着いて左右に配球することも持ち味の一つとし、攻撃の起点として活躍した。本当に悔やまれるのは、県総体直前に故障し、県総体のピッチに最後まで立てなかったことだが、この悔しさを大学サッカーにつなげてほしい。ストイックな性格で、部員を厳しくリードした功績も大きい。

充実の正月埼玉遠征を終えて

1月3日～5日、このたびで3年目となる埼玉遠征に行ってきました。埼玉県立越谷西高校サッカー部さんに合同合宿して頂く、本当にありがたい遠征でした。また、選手が少ないので、今年は去年のOB2名を超えるOB4名の力を借りて遠征してきました。4名のOBとは、山形大学2年の大築君(山東62回卒)、新潟大学2年の小松君(63回卒)、東北大学1年の堀込君(63回卒)、青山学院大学1年の矢口君(64回卒)です。大築君は昨年につき2度目の埼玉遠征。その他の3名も、正月だというのに、後輩のために?喜んで駆けつけてくれました。まず、3日6時に出発⁸し、浦和駒場スタジアムに直行。選手権の3回戦を観戦。

先だっの1年生大会の壮行会のときに、ユウキのお父様から、「正月の埼玉遠征は、兄のコウキの代(63回卒)のときに自主的に選手権を観るという名目でみんなで関東へ遊びに行ったことを受けて、次の年、遊びに行かせないために企画されたんじゃないですか?」と問われました。私も忘れていましたが、そういえば、3年前に2年生部員が正月に自主的な関東遠征を敢行したと聞いて、「そうだよな～、選手権観たいよな～」と思い、2年前に選手権観戦と遠征を合体させる企画を組んだのでした(決して「遊びに行かせないため」ではありません)。私は、妻の実家が埼玉(春日部市)で、年末年始は妻の実家で過ごすものですから、毎年選手権は何試合か観戦しており、自分だけ堪能して終わりにしていましたが、

⁸ 1名遅刻し、6:30出発となりました。集団行動が求められるときに、これではいけませんね。

よくよく考えれば部員も観たいはずだし、観て刺激を受けた方がよい。合わせて、自分たちの練習試合もできたら最高、などと考え、縁あった越谷西さんに頼んだのでした。その埼玉遠征も3回目。

選手権の3回戦は、第一試合が星稜対米子北、第二試合が履正社対中津東。どちらの試合も、技術に優れ押し込むチーム（星稜、履正社）と、押し込まれることを予想し守備的に戦いカウンターから勝機をつかもうとするチーム（米子北、中津東）との戦い。昨年の選手権のレポート⁹でも書きましたが、選手権（の第1試合～第3試合）はその構図の試合が多い。通常は押し込むチームが優勢ですが、選手権では得てして守備的に戦うチームが勝つことが多い。言葉悪いですが、「弱者が勝機をつかむ戦い」は本当に勉強になる。結局両試合は、それぞれ星稜、履正社が勝ちましたが、十分見ごたえある試合でしたし、望むと望まざるとにかかわらず、県大会の上の山では強豪チーム相手に押され気味の試合をしなければならないことを考えると、とても勉強になりました。

1月3日は試合観戦後、越谷西高校に移り、ナイターを使いながら、ゲーム。二日目午前は、大宮東に移動し、大宮東さんの胸を借りました。午後は、同グラウンドの隅で、帯同して下さった名和トレーナーによる下半身の筋トレ。OBも含め、全員取り組みましたが、みんなお尻をプルプル言わせながら筋トレに励んでおりました。そして、帰って来てから、またナイターで越谷西さんとゲームさせてもらう。三日目は越谷西さんと川越南さんとゲームし、午後、越谷西高校をあとにしました。

この遠征にて、Aチーム、Bチームともに**《フリースピードの遅さ》が課題**となって浮き彫りになりました。この遅さの原因は、**on the ballの選手（ボールを保持している選手）が次のフレーのイメージを持ってボールを受けていない（ボールを受けてから次のフレーを考えている ⇒ だからどうしても無駄なタッチ／ドリブルが多くなる）**ということにも依るし、**off the ballの選手（ボールを保持していない選手）がパスコースに動いていなかったり、相手マークを外せてなかったりして、端的に言えばボールに関わっていない**ということにも依るでしょう。また、関わりの少なさという点では、**声によってチームに関わる**ことも重要ですが、OBの大築君がどうしても目だってしまったということは、やはり現役選手は声が少ないということでしょう¹⁰。

今年は恒例の？早朝の試合はありませんでしたが、三日間越谷西さんにはゲームして頂きました。スタッフの皆様、何から何まで準備ありがとうございました。また、4年連続で大宮東にもお世話になりました。ありがとうございました。そして、OBの4名、本当に助かりました。4名はB戦ほぼフル出場でした。今後も山東の遠征で行きたいのがあったら、声をかけて下さい。

保護者会の皆様から、激励金を頂戴しました。また、校長先生より、越谷西さんへのお土産のお酒とご芳志頂戴しました。ありがとうございました。

⁹ 山形東サッカーOB会 HP の昨年のところに、県高体連サッカー専門部から派遣されてサッカー年鑑用に書いた私のレポートが UP されておりますので、興味を持った方は検索してみてください。

¹⁰ 大築君と比べられると山東の選手もちよっとかわいそうですが……。とにかく、大築君の声だしの積極性は、見習ってもらいたい。